

令和6年10月11日

保護者 様

一宮町立東浪見小学校
校長 土屋 淳 二

令和6年度全国学力・学習状況調査について（お知らせ）

今年度全国一斉に実施されました、全国学力・学習状況調査の結果について下記のとおりお知らせいたします。

なお、本文書と同様のものを、本校のホームページ（torami-e.com/）に掲載していますので、そちらからもご確認いただけます。

記

1 調査対象 全国の小学校第6学年

2 実施日 令和6年4月19日（火）

3 調査結果について

(1) 学力状況

国語科は、全ての調査項目において全国・県平均を下回る結果となりました。

算数科は、全国・県平均を若干上回る結果となりました。

(2) 学習状況

国語科

「知識及び技能」において、「話し言葉と書き言葉との違いに気付くことができるかどうか」をみる問では、正答率が約8割でした。「言語の特徴や我が国の言語文化に関する事項」の項目に関しては、県正答率の平均を-21.6ポイントと下回る結果でした。「思考力・判断力・表現力等」では、3項目とも県平均を下回りました。特に、「話すこと・聞くこと」の項目では、県正答率の平均を-20.1ポイントと下回る結果でした。

算数科

学習指導要領の領域に関する調査項目4項目のうち、「C 変化と関係」「D データの活用」に関しては全国・県平均を上回りました。「A 数と計算」「B 図形」に関しては若干、平均を下回りました。「問題形式」に関しては、短答式や記述式の問題の正答率が全国・県平均を4ポイントほど上回っているのに対し、選択式の問題については、全国・県平均を-3ポイントほど下回りました。

4 調査結果から

(1) 学校としての対策

- 自己有用感が高く、課題の解決に向けて自分から授業に取り組む児童が多いことから、さらに児童の関心や興味をゆさぶりながら授業を展開できるように授業改善を進めていきます。
- 学習規律を徹底して、授業を効率的に進め、基本的な学習習慣の定着を図り、学力向上を目指します。授業の中では、一人一人の児童が積極的に学習に取り組めるよう、個に応じて課題を設定し、話し合い活動や個々の考えを深める活動等を取り入れていきます。

(2) 家庭においてお願いしたいこと

- 6年生においては、個票（結果）をご覧ください、全国の状況を参照し、お子様の傾向を把握して、改善できるように取り組んでみてください。また、家庭での学習習慣（家庭学習の取組）がゼロに近い児童や15分未満の児童が多いことから、家庭学習の習慣化を図っていけるようにご協力をよろしくご願いたします。